石黒：　用意するものは出来ると思うんですけれど、私の自分の考え方からすれば、昨日の私と今日の私というのは 1 日成長しているわけですね。で、今日の私と明日の私はもう 1 日成長しているわけですから、ちょうど 4 月 22 日にちょうど最高の状態に、自分の成長の状態をもって行きたいと、したがって、現時点で 1 週間前にすべてがそろっていたということは怠惰であって 1 週間なにもしないということになるから、成長しないというようなそういった考え方には私自身いたっていないということです。

早川：　そうですか。ありのままにご自分を自分の目で成長させて、その中でみなさんにも環境の大切さというものを啓蒙していこうという思いもおありだろうと思うんですけれども、アメリカでいろんな方たちとお会いして打合せをされて、先ほど私はタイタニックのディカプリオがホストだといいましたけれど、かっこいいですね。

石黒：　そうですね。彼はやっぱり若い人の間では人気者です。それでアメリカの Earth day をやっている人達も多くの人達は私よりは少し若いですが、だいたいそんなに若い人達ではないんですが、その人達は「えっディカプリオ？」っていってます。でも、若い人達にはやはり人気があると思います。彼らはディカプリオを支持しています。

早川：　そうですね、やはり若い人達、あるいは女性も含めて、おそらくディカプリオ人気というのも、ともに環境への思いでワーッとみなさん楽しまれるっていう気もするんですけど。

石黒：　そうですね。やはり俳優として彼が演技をしますよね。ディカプリオの演技。そうすると彼らは 4 月 22 日にワシントンモールで百万人の人が集まってそこで彼はどういうスピーチをするのかということは一つのみんな多くの人達の興味だと思うんです。彼がそれで彼自身のパーソナリティをそこでださなければいけないはずなんで、私はそれは私自身も興味がある、監督がいない状態で彼はやらなけらばいけないはずなんです。

早川：　いいですね。かたやワシントンモールではディカプリオが、そして日本では名古屋の久屋大通公園でみなさんがいろんなものをこう見て歩かれるわけですけど、まずこう具体的な提示されるようなものはどんなものでいらっしゃいますか。

石黒：　会場はいちおう二つあるわけですが、一つは雨天のこと、私自身は雨はそんなにきらいじゃないんですが、雨のことも考えて、第一会場、第二会場になっております。一つは中区役所で、これは主としてインドアの、一つはテレビ塔下の、これは大きなメインイベント。中区役所の方は、講演が二つ、それから子供たち、鈴木メソッドの 160 人のバイオリンコンサートとか、ミニバレエとか、ぬいぐるみをきた寸劇がありまして、それが環境劇なんで、それと中の出席者というかそれをみにきている人と環境やりとりクイズをやる。それから金属楽器でない、セラミックの楽器の演奏会で最後しめると、それが中区役所の方でして、外では 20 のブース、それぞれ企業が企業商品、企業商品というのは環境に配慮した商品、あるいは企業の環境活動、それの発表、あるいは、北は北海道から沖縄までかく都道府県市町村の環境に関するポスターを集めました。したがってそれは現在 40